

5. 岩手県釜石市

エコタウン名称	かまいしエコタウンプラン			
承認年	平成 16 年 8 月 13 日			
エコタウンの特長	<p>排出形態が多様で、水域への負荷が大きい地域固有の処理困難物について、釜石市民の生活や産業の基盤となっている川や海の水域への負担を低減する地域内排出抑制、収集、リサイクルシステムの構築を通じた、自然回帰を基調とするまちづくりを市民・事業者・行政の連携のもとに推進していくもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製鉄高炉技術を活用した高温溶融処理システムによる一般廃棄物処理 →排出されたスラグやメタルのリサイクル ・廃食用油の再利用（ディーゼルエンジンの燃料等） ・水産未利用資源からバイオ技術により機能性食品原料にリサイクル ・使用済自動車リサイクル事業 など 			
URL	http://www.city.kamaishi.iwate.jp/index.cfm/7,0,39,400,html			
自治体の取組	財政面の支援	例) 補助金、優遇措置、等	<p>○使用済自動車リサイクル事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市地方債を原資とした無利子融資 ・市補助金(企業立地措置) <p>○機能性食品原料リサイクル事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金 市(釜石市資源循環型地域産業推進事業費補助金) 国(資源循環型地域振興施設整備費補助金) 県(エコタウン形成推進事業費補助金) 	
	その他	例) 産官学連携、協議会等の設置、情報発信、等	<p>○機能性食品原料リサイクル事業者</p> <p>大学院との連携・・・有用物質の抽出開発に向けた技術開発</p>	
問合せ先窓口	担当部署名	釜石市産業振興部商工労政課		
	担当者名	三浦 功喜		
	連絡先	電話番号	0193(22)2111 内線 321	
		FAX	0193(22)2762	
Eメールアドレス		miura1446@city.kamaishi.iwate.jp		

5.1 協同組合マリンテック釜石

5.1.1 事業者情報

名 称	協同組合マリンテック釜石			
本社住所	〒026-0001	岩手県釜石市平田 3-75-5		
資本金、出資金	30,000 千円			
従業員数	4 人			
設立年月日	平成 5 年 7 月 23 日			
URL	http://			
事業概要	水産未利用資源からバイオ技術により機能性成分の抽出			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	営業部		
	担当者名	藤原三十郎		
	連絡先	電話番号	0193-55-5100	
		FAX	0193-55-5103	
E メールアドレス		fuji@mtc-marine.co.jp		

5.1.2 技術情報

キーワード	水産、バイオ、機能性		
技術名称	機能性成分抽出		
技術の分類	その他(水産未利用部の利用)		
目的・用途	食品及び健康食品		
特長	主に酵素を使用した基質の分解を行い、多岐にわたる方法で分離し目的物を抽出し濃縮までを行う		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図	<p>生産物: サケ由来コンドロイチン硫酸</p> <p>原料⇒微細⇒酵素分解⇒粗ろ過(150メッシュ程度)⇒精密ろ過(3μ程度)⇒超精密ろ過(分子量サイズ)⇒脱臭・脱色(活性炭および鉱物による)⇒濃縮⇒粉化⇒分級⇒充填(製品化)</p>		
廃棄物の種類	一廃・産廃	水産物系残渣	受入条件、形状 腐敗が無いこと、異物の混入が無いこと
供給資源・製品	コンドロイチン硫酸等		形状 粉末、濃縮液
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	産廃として処理していた水産廃棄物を原料として販売できる
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	原料を比較的近隣より集めることのコスト軽減、三陸産の原料を使用することでブランド化が図れる

5.1.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	鮭頭部	150	0	トン
受入可能量	鮭頭部	-	0	トン
販売実績量の推移	コンドロイチン硫酸	3	0	トン
主な調達先	水産加工業			
主な供給先	健康食品メーカー等			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	震災後、被災した機械設備を自己資金で修繕(5000 万)			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	農林水産省 「地域資源を活用した省エネ・省コスト・高付加価値型の水産業・水産加工業の実用化・実証研究委託事業」			


5.2 協同組合岩手オートリサイクルセンター

5.2.1 事業者情報

名 称	協同組合岩手オートリサイクルセンター			
本社住所	〒026-0055	岩手県釜石市大字平田第3地割81番地		
資本金、出資金	86,000 千円			
従業員数	20 人			
設立年月日	平成 15 年 5 月 8 日			
URL				
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガソリン、廃油、冷却液抜き 2. フロン、エアバッグの適正処理 3. 有用中古部品抜き(含むエンジン) 4. 車両ガラプレス屑は電炉向け 			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	総務部		
	担当者名	佐々木 久		
	連絡先	電話番号	0193-36-1036	
		FAX	0193-26-5856	
Eメールアドレス		hisashi.sasaki@chive.ocn.ne.jp		

5.2.2 技術情報

<p>キーワード</p>	<p>自動車解体業</p>		
<p>技術名称</p>	<p>自動車解体業、破砕業</p>		
<p>技術の分類</p>	<p>収集・運搬・破砕(解体機ニプラによる有用部品抜取後の破砕)・圧縮〔車両ガラ屑の油圧プレス化〕</p>		
<p>目的・用途</p>	<p>自動車リサイクル法に準じた適正処理 及び 完全リサイクル事業</p>		
<p>特長</p>	<p>◇有用中古部品の精緻な抜取(含エンジン) ◇フロンガス、エアバックの適正処理</p>		
<p>設備、製品等の 写真、イメージ</p>			
<p>処理フロー図</p>			
<p>廃棄物の種類</p>	<p>廃自動車</p>	<p>受入条件、形状</p>	<p>車両登録番号無し of 車</p>
<p></p>	<p>廃油</p>	<p>受入条件、形状</p>	<p>廃油、廃液室で抜取</p>

供給資源・製品	1. ガソリン、廃油、冷却液抜き 2. フロン、エアバッグの適正処理 3. 有用中古部品抜き(含むエンジン) 4. 車両ガラプレス層は電炉向け		形状	サイコロプレス層
			形状	抜き形状で倉庫入り
	有用部品 各種		形状	抜き形状で倉庫入り
	その他 モーター類		形状	抜き形状でフレコンバッグ入り
	その他 ハーネス		形状	抜き形状でフレコンバッグ入り
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	自動車に内蔵されている廃油、廃液の完全抜き後の処理業者〔クリーンセンター〕渡しで有料処理、処理料金は廃油、廃液とも 34 円/Kg	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	廃タイヤ等はセメント原料工場の燃料熱源となっている。	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	自動車リサイクル法に準じたりサイクル業ということで、H16.12.01 立上げ操業開始後4年間見学者ラッシュとなり対応説明に追われた。H16年 819人、17年 811人、18年 202人、19年 190人 4年間合計 2,022人となった。その内訳は行政、大学、地方自治体、一般産業、報道関係の順となった。	

5.2.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	処理台数	非公開	非公開	台/年
	在庫台数	非公開	非公開	台/年
受入可能量	処理台数	-	非公開	台/年
	在庫台数	-	非公開	台/年
販売実績量の推移	フロン処理手数料	非公開	非公開	千円/年
	エアバッグ処理手数料	非公開	非公開	〃
	資源素材販売収入	非公開	非公開	〃
	中古部品販売〔国・輸〕	非公開	非公開	〃
	1. ガソリン、廃油、冷却液抜き 2. フロン、エアバッグの適正処理 3. 有用中古部品抜き(含むエンジン) 4. 車両ガラプレス屑は電炉向け			
主な調達先	非公開			
主な供給先	非公開			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	非公開			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	非公開			
海外展開の実績 (過去 5 年間)	非公開			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	非公開			
その他実績	非公開			